



THE
ABEL
PRIZE
2025

日本人数学者 柏原正樹氏に 2025 年アーベル賞授与決定

ノルウェー科学文学アカデミーは、「代数解析学および表現論、特にD加群理論の発展と結晶基底の発見に対する根本的な貢献」をした、京都大学数理解析研究所(RIMS)特任教授および京都大学高等研究院(KUIAS)特定教授の柏原正樹氏に対して、2025年アーベル賞を授与することを決定した。

柏原正樹氏は半世紀以上にわたって数学の世界に身を置き、新たな数学分野への扉を開いてきた。橋を架け、手法を創出した。誰も想像しなかった方法で驚くべき定理を証明してきた。まさに真の数学的先見者である。

ニールス・ヘンリック・アーベル(1802~1829)自身がそうであったように、柏原正樹氏(1947)も幼い頃から優れた才能を発揮していた。代数学が好きになったきっかけは、学生時代に、頭の数の合計と足の数の合計から鶴と亀の数をそれぞれ計算するという「鶴亀算」と呼ばれる問題からだ。どんな問題でも解決する方法を一般化できることに、楽しみを覚えるようになった。それ以来、その驚くべき数学人生を通して、数学的問題を解くための新しいアプローチを見つけ、新たな方法を生み出し続けてきた。

東京大学では、4年次のゼミで恩師となる佐藤幹夫氏(1928~2023)に出会う。佐藤氏は代数解析学という新しい分野を創設し、柏原氏は1970年に彼の指導の下で修士論文を完成させた。この論文は、柏原氏がわずか23歳の時に、代数解析学を用いて線形偏微分方程式を研究するための新しい基礎であるD加群理論の基礎を確立した。その後25年間、この論文は日本語版しかなかったにもかかわらず、大きな影響力を持ち続け、最終的には英語にも翻訳された。

幅広い数学の領域

柏原氏は修士論文を出発点として、画期的な新発見や新解法を次々と発表し、目覚ましい数学的キャリアを積んでいった。数々の業績は、数学の様々な分野に大きな影響

を与え、その発展に大きく貢献してきた。長年にわたり、多くの数学者が柏原のアイデアからインスピレーションを得てきた。

大学院在学中、柏原氏は佐藤氏や同じ数学者の河合隆裕氏とともにフランスに渡り、そこで生涯の共同研究者となるピエール・シャピラ氏と出会った。1974年に京都大学で博士号を取得した後、柏原氏は名古屋大学の助教授に任命された。1977年にマサチューセッツ工科大学(MIT)に研究員として出張し、1978年に日本に戻ってからは、京都大学数理解析研究所(RIMS)に所属した。2010年に定年退職して名誉教授となり、RIMS特任教授として研究を続けている。また、世界最先端の研究拠点として特設された京都大学高等研究所(KUIAS)では、2019年より特定教授を務めている。

著書と受賞歴

柏原氏は70人以上の共同研究者を持つ、極めて多作な数学者である。

多くの著書だけでなく、多数のアイデアを他の研究者に提供している。その分野の標準的な参考書となった著書もある。朝日賞、日本学士院賞、藤原賞、国際数学連合のチャーン賞、稲盛財団の京都賞、国際基礎科学会議のフロンティア・オブ・サイエンス賞など受賞多数。2020年には瑞宝重光章、2024年には京都府文化賞特別功労賞を受賞した。

「柏原正樹氏は50年以上にわたり、代数解析学と表現論の分野を再構築し、深く豊かにしてきた。彼の研究は現代数学の最前線にあり続け、何世代もの研究者にインスピレーションを与え続けている」とノルウェー科学文学アカデミーのアンネリーネ・エーリクセン会長は語る。

受賞者の人生に関する詳細は「バイオグラフィー」を参照のこと。

なぜ2025年に柏原正樹氏に授与されたのかに関する数学的な詳細については、アーベル賞委員会による「2025 Abel Prize citation」を参照のこと(英語のみ)。

アーベル賞について

- 授賞式は2025年5月20日にオスロで開催される。
- アーベル賞はノルウェー政府から750万ノルウェークローネが拠出される。
- 賞はノルウェー科学文学アカデミーにより授与され、伝統的に、ノルウェー国王またはホーコン皇太子のどちらかにより手渡される。
- 受賞者の選考は、国際的に著名な数学者5名で構成されるアーベル委員会の推薦に基づいて行われる。
- 詳細: www.abelprize.no
- 委員会の委員長または受賞者とのインタビューを希望される場合は、下記に記載されている報道関係者へご連絡ください。
- プレスルームは3月26日12:00(中央ヨーロッパ標準時CET)よりオープンします。
abelprize.no/page/press-room-abel-prize-laureate-2025
- アーベル・ウィークのメディア登録は4月23日に開始し、5月15日に締め切ります。
<https://dnva.pameldingssystem.no/media-registration-for-the-abel-week>

2025年アーベル賞受賞者プレス窓口(日本)

京都大学渉外・産官学連携部広報課

国際広報室長David Hajime Kornhauser

電話: +81 (0)75 753 5727

Eメール: comms@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

ノルウェー科学文学アカデミーのプレス窓口(ノルウェー)

アーベル賞／ノルウェー科学文学アカデミーの広報責任者

Marina Tofting

電話:+47 938 66 312

Eメール: marina.tofting@dnva.no

一般広報窓口: press-abelprize@dnva.no